

会計名 一般会計			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化					
			基本施策	文化・芸術					
			施策の内容	創作・発表の機会づくり					
	目的		教育普及活動を行うことで、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。			主たる内容	企画展関連のワークショップ及び夏休み・春休み期間中等の子ども向けワークショップを開催する。		
	位置づけ								
	関連計画		刈谷市文化振興基本計画						
	根拠法令		博物館法						
	対象者		プログラムにより個別に対象年齢を設定			事業期間	～		
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
・ワークショップ 8種12回開催 ・参加者数 335人		・ワークショップ 5種6回開催 ・参加者数 276人		・ワークショップ 5種7回開催 ・参加者数 154人		・ワークショップ 7種10回開催 ・参加者数 120人			
成果		新型コロナの影響に配慮し、参加人数を通常より減らすことにより開催することができた。							
課題		多様なプログラムを提供できるように、幅広いジャンルの講師の発掘とともに、プログラムの補助スタッフ（会計年度任用職員）の確保が課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		開催回数（回）			12	6	7	10	10
成果指標		参加人数（人）			335	276	154	120	200
他市との比較検証		ワークショップ開催数（回）・対象者…高浜市やきもの里かわら美術館：8・小学生～大人、碧南市藤井達吉現代美術館：36・3歳と保護者～大人、豊田市美術館：0、稲沢市荻須記念美術館：6・幼児～大人							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		460	594	317	947	合計 317,497 円		
	財源	特定財源	8	0	4	25	報酬	29,512 円	
		一般財源	452	594	313	922	報償費	245,000 円	
	職員人件費 ②		1,929	2,310	2,240	1,883	旅費	4,220 円	
	総事業費（①+②）		2,389	2,904	2,557	2,830	需用費	35,765 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		講座受講料					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			参加・体験型美術教育普及事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	6	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、教育活動の機会を提供し、及びその提供を奨励することが定められており、必要性が高い事業である。また、学習指導要領（図画工作）において、地域の美術館を活用した鑑賞教育が項目に挙げられていることから必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	造形教育の専門家等がプログラムの講師をすることで、きめ細かい指導が可能となり、参加者の満足度の高いプログラムが実施できている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	教育普及事業の企画運営は、教育活動に関する専門知識を持つ学芸員の経験等が必要になることから、市が主体となるのが最も望ましく妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	3歳児から中学生までを対象とした美術教育の体験を提供する民間施設等が少なく、市民サービスの向上に寄与している。 感染症対策として、マスクや消毒だけでなく、プログラムの内容にも配慮しながら事業を行うことができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
学校教育における図画教育の授業数が減少しており、学習指導要領において地域の美術館を活用した鑑賞教育等が奨励されていることから、教育効果の高い内容を企画運営し、参加者の発達段階に即した適切な事業を展開していきたい。					

会計名 一般会計			ヒグチュウコ展開催事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	細密にして精巧な筆致で現実世界と空想世界の境界を乗り越え、独自の作品を生み出すヒグチュウコの個展を開催することで、美術に対する理解・親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。			主たる内容	約20年の画業の中で描かれた絵本原画や、本の装画、企業への提供作品等を展示し、表現の幅を広げ続ける作家の全貌を知ることができる展覧会を開催する。 ○会期 令和2年6月2日～7月11日（35日間） ○会場 全館 ○入場料 一般当日1,000円・前売800円 学生当日800円・前売600円			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和2年度 ～ 令和2年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		—		—		展覧会を開催 ※イベント開催中止		—	
成果		新型コロナの影響により、数回にわたって会期を変更したが、関係団体等の協力もあり、当初と同等の開催日数を確保することができた。 館内に「密」が生じないように、来館者の導線や誘導方法を検討したことにより、多くの方に鑑賞してもらうことができた。							
課題		館内が「密」になるのを避けるため、入り口・エレベーター前でそれぞれ入館者数を調整したが、それでも展示室内で部分的に人が集中してしまうことがあった。 新型コロナの感染対策のため、来館者アンケートが取れなかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		入場者数（人）				—	21,176	—	
活動指標									
他市との比較検証		展覧会の巡回地の会期・入場者数…高知県立文学館：令和2年2月1日（土）～3月29日（日）・5,866人、福岡市美術館：令和2年12月24日（木）～令和3年2月7日（日）・21,106人							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	22,421	0	合計	22,420,576 円	
	財源	特定財源	0	0	22,421	0	報酬	2,755,406 円	
		一般財源	0	0	0	0	旅費	42,460 円	
	職員人件費 ②		0	0	9,333	0	需用費	556,450 円	
	総事業費（①+②）		0	0	31,754	0	役務費	511,460 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称		委託料	6,146,800 円
2年度までの累積事業費		0		入場料 冊子等頒布収入 文化芸術振興費補助金（国）		負担金、補助及び 交付金	12,408,000 円		
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			ヒグチュウコ展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	
10	6	8			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	コロナの影響により、キャンセルされた展示室を有効に活用し、当初の予定と同様の展覧会期間が確保でき、多くの方に鑑賞いただいた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	コロナウィルス感染拡大防止に配慮し、マスク着用等の対策を行いながら、鑑賞の機会を提供することができた。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名 一般会計			村上康成展開催事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	美術館		
10	6	8					担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	文化・芸術						
			施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的		自然の豊かさや美しさ、厳しさを描く作品で知られる絵本作家・村上康成（1955年～）の展覧会を開催し、作品を通して描かれる自然の大切さと美術に対する理解、親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。		主たる内容		シンプルで愛らしい生き物たちが登場する代表作や新作の絵本原画を中心に展示し、村上康成の仕事を紹介する。 ○会期 令和2年10月3日～11月15日（38日間） ○会場 1階展示室・1階ロビー・第3展示室 ○入場料 無料			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	博物館法							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和2年度 ～ 令和2年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		_____		_____		・ワークショップ 1回 ・ギャラリートーク 2回 ・講演会 1回		_____		
成果		新型コロナのため会期が変更になったが、当初の予定より広い会場を使って、村上康成の作品を多くの人に楽しんでもらうことができた。 ワークショップや講演会等は参加人数を通常より減らすことにより開催することができた。								
課題		新型コロナの感染対策のため、来館者アンケートが取れなかった。								
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
	活動指標	入場者数（人）				—	8,679	—		
	活動指標									
他市との比較検証	刈谷市独自の事業である。									
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	13,537	0	合計	13,537,238 円		
	財源	特定財源	0	0	5,973	0	報酬	1,074,688 円		
		一般財源	0	0	7,564	0	報償費	248,700 円		
	職員人件費 ②		0	0	7,093	0	旅費	106,270 円		
	総事業費（①+②）		0	0	20,630	0	需用費	6,389,908 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
	2年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入 講座受講料					
	4年度以降の事業費見込		0							

会計名			村上康成展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	
10	6	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	当館単独の展覧会であり、極力自前で写真やデータを整えて図録作成を行うことで、コストの削減を図った。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	コロナウィルス感染拡大防止に配慮し、マスク着用等の対策を行いながら、鑑賞の機会を提供することができた。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名		施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	6					7			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館及び佐喜知庵の適正な維持管理を行い、施設の環境を最適に保つ。		主たる内容	光熱水費、施設修繕料、建物清掃委託料など美術館・佐喜知庵の施設管理に関する費用を支出する。				
	位置づけ	第2次刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令	博物館法							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和58年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 274日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 264日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 222日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 286日	
成果		施設、設備等が適切に維持管理ができ、来館者に快適な環境の提供ができた。							
課題		建設後36年を経過し、建物・設備の経年劣化が目立つ。施設の適正な維持、省エネルギーの観点からも計画的な施設・設備の更新を行うことが課題である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		ギャラリーの展示室稼働率（％）		98.9	100	80.2	100	100	
指標									
他市との比較検証		ギャラリー（貸館）の有無・展示室稼働率（％）…高浜市やきもの里かわら美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：有・0.0、豊田市美術館：有・40.9、豊橋市美術博物館：有・57.1、稲沢市荻須記念美術館：有・62.5							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		33,581	33,094	31,619	38,018	合計	31,618,811 円	
	財源	特定財源	2,306	2,053	1,529	1,950	需用費	13,724,114 円	
		一般財源	31,275	31,041	30,090	36,068	役務費	778,664 円	
	職員人件費 ②		5,401	5,391	5,226	5,273	委託料	15,352,376 円	
	総事業費（①+②）		38,982	38,485	36,845	43,291	使用料及び賃借料	1,763,657 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		美術館使用料					
4年度以降の事業費見込		0		電話料実費徴収金 文化芸術振興費補助金（国）					

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	7					担当係	美術館	
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					主たる内容	○防災設備点検不良箇所修繕 ○空調関係修繕 ○施設修繕・工事
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館の施設を整備することで、来館者に快適な施設空間の提供を図る。							
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業実績 D実績 O A 実施V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		美術館の修繕 ・茶室蛍光灯修繕 ・正面玄関傘立て修繕 ・防犯カメラシステム修繕 ・空調機器自動制御機器修繕 ・空調機冷温水二次ポンプオーバーホール修繕 ・空調機冷却水ポンプオーバーホール修繕		美術館の修繕 ・消防設備点検不良箇所修繕 ・資料室空調機取替修繕 ・空調フィルター取替修繕 ・全熱交換器フィルター取替修繕		美術館の修繕 ・ロビー吹抜け照明取替工事 ・空調設備等修繕 ・非常照明修繕 ・2階ロビー排煙口修繕 ・空調用自動制御器不具合修繕 ・雨水排水路修繕 ・竹垣他取替修繕 他		美術館の修繕 ・空調設備改修工事 ・ハロン消火設備修繕工事 ・蛍光灯等取替修繕	
成果		美術館の設備修繕は、予定されていた全ての修繕を実施し、来館者に快適な施設空間を提供できた。							
課題		施設・設備の経年劣化や補修部品の廃止等のため、建物・施設の改修、更新が必要な時期に達している。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
成果指標	年間入館者数（人）	30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標		119,285	112,147	62,904	90,000	90,000			
他市との比較検証	令和2年度施設修繕額（千円）…高浜市やきもの里かわら美術館：1,514、碧南市藤井達吉現代美術館：1,980、名古屋市美術館：121,744、豊田市美術館：25,755、豊田市美術博物館：730、稲沢市荻須美術館：698								
C事業コスト	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①	1,604	2,551	5,769	9,800	合計	5,768,576 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,099,326 円	
		一般財源	1,604	2,551	5,769	9,800	工事請負費	1,669,250 円	
	職員人件費 ②	2,315	4,621	4,480	3,767				
	総事業費（①+②）	3,919	7,172	10,249	13,567				
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		2年度特定財源名称					
	2年度までの累積事業費	0							
	4年度以降の事業費見込	0							

会計名			収藏品等保存管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行うことで、美術館収藏品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。		主たる内容	美術品動産保険、収藏品の修復、収蔵庫の燻蒸及び保存環境測定に関する費用を支出する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	—		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・2階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・1階収蔵庫燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品と既存作品の撮影	
成果		収藏品の適切な保存を図ったほか、新しく収集した一部の作品等の額装や撮影を行い、展示の管理が可能な状態に整えることができた。							
課題		新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復・額装は新収藏品を優先して行っており、対処できなかった作品は次年度以降の予算内で数点ずつ行っている。そのため修復・額装をはじめ、撮影を必要とする作品が大量に残っている状況である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		修復、保存措置等をした作品数（点） （写真撮影、額装等）			264	142	279	150	150
活動指標		上記のうち展示や収藏品データベース等に活用した作品数（点）			149	110	223	100	100
他市との比較検証		修復、保存措置等をした作品数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館：41、名古屋美術館：4、碧南市藤井達吉現代美術館：240、豊田市美術館：75、豊橋市美術博物館：13、稲沢市荻須記念美術館：6 収藏品点数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館：2,236、碧南市藤井達吉現代美術館：1,964、名古屋美術館：6,802、豊田市美術館：3,548、豊橋市美術博物館：51,957、稲沢市荻須記念美術館：242							
C 事業コスト		単位：千円		30年度 （決算）	元年度 （決算）	2年度 （決算）	3年度 （予算）	2年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,236	2,521	3,002	3,484	合計	3,001,520 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	63,420 円	
		一般財源	2,236	2,521	3,002	3,484	委託料	2,542,100 円	
	職員人件費 ②		2,700	2,696	2,240	2,260	使用料及び賃借料	396,000 円	
	総事業費（①+②）		4,936	5,217	5,242	5,744			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
	2年度までの累積事業費		0						
	4年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			業務管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	美術館		
10	6	8					担当係	美術館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	作品選定や審査等の、適正な業務管理を行い、刈谷市美術館が收藏するにふさわしい美術品を収集することで、コレクションの充実を図る。			主たる内容	刈谷市美術館美術品審査委員会の開催費用を支出する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱							
		対象者	美術品審査委員会委員、市職員		事業期間	平成4年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		
成果		刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った優れた美術作品や、貴重な資料の収集を行うことができた。								
課題		審査委員が高齢化していることもあり、後任の委員の候補者を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		審査委員会開催回数（回）			1	1	1	1	1	
活動指標		審査作品数（購入・寄贈等）（件）			15	106	30	50	50	
他市との比較検証		審査委員会開催回数（回）・審査作品数（件）…高浜市やきもの里かわら美術館：0・0、碧南市藤井達吉現代美術館：2・185、豊田市美術館：2・7、稲沢市荻須記念美術館：1・2								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		76	653	90	979	合計	89,860 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	48,520 円		
		一般財源	76	653	90	979	旅費	41,340 円		
	職員人件費 ②		3,858	3,851	3,733	3,390				
	総事業費（①+②）		3,934	4,504	3,823	4,369				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			一般企画展等実施事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8	担当係		美術館				
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	常設展示を行うことで、地域の人々に刈谷市美術館の収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深める機会を提供する。また、呈茶事業を行うことで、気軽に茶道に親しむ機会を提供する。				主たる内容	収蔵作品を展示する常設展を、年4回程度開催する。また、一般市民向けの個人呈茶を実施する。		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を設定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・第1期常設展「New Collection展」26日 ・第2期常設展「没後60年河目悌二展」25日 ・第3期常設展「絵画を愉しむ食の風景」34日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ描かれた人びと」39日 ・個人呈茶日数 224日		・第1期常設展「西三河ゆかりの美術」32日 ・第2期常設展「すばらしき日本の美」21日 ・第3期常設展「1960-70年代のポスター」40日 ・第4期常設展「どうぶつパラダイス!!」5日 ・個人呈茶日数 145日		・第1期常設展「どうぶつパラダイス」29日 ・第2期常設展「New Collection展」20日 ・第3期常設展「没後10年瀬川康男展」19日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ耳をすまして」34日 ・第5期常設展「大島哲以展」39日		・第1期常設展「寛忠治展」32日 ・第2期常設展「ミラクル・ミュージアム」39日 ・第3期常設展「New Collection展」43日 ・第4期常設展「花咲く絵画」44日 ・個人呈茶日数 100日	
成果		常設展は、美術と個々の収蔵作品に親しんでもらえるように、ユニークなテーマを設けて5期開催し、各展ともに好評を得ることができた。							
課題		佐喜知庵の施設・設備・茶道具は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用されるため、日常的な消耗・劣化が著しく、また十分な修繕や買替えが定期的に行われていないため、計画的に修繕・買換えの予算化を行うことが課題である。個人呈茶事業は委託団体の高齢化もあり、コロナの影響が大きく、事業を実施できなかった。次年度の再開時期についても検討が必要である。							
D 実績	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度
	成果指標	常設展入場者数（人）			35,078	35,216	30,380	40,000	40,000
	成果指標	個人呈茶人数（人）			7,714	3,550	0	1,500	3,500
他市との比較検証	常設展開催日数（日）…高浜市やきもの里かわら美術館:224、碧南市藤井達吉現代美術館:0（改修工事中）、豊田市美術館:210、稲沢市荻須記念美術館264 常設展入館者数（人）…高浜市やきもの里かわら美術館:15,075、碧南市藤井達吉現代美術館:0（改修工事中）、豊田市美術館:56,193、稲沢市荻須記念美術館:4,216								
C 事業コスト	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①	7,673	3,525	1,789	6,267	合計 1,789,078 円			
	財源	特定財源	2,466	1,201	124	1,630	旅費	4,460 円	
		一般財源	5,207	2,324	1,665	4,637	需用費	213,438 円	
	職員人件費 ②	4,629	5,006	5,973	5,650	役務費	445,880 円		
	総事業費（①+②）	12,302	8,531	7,762	11,917	委託料	839,300 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入 呈茶料収入					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	6	8							
PLAN概要	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	次年度以降に開催を予定している企画展について調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行うことで、事業の円滑な実施を図る。			主たる内容	企画展開催に係る調査研究、出品作品の選定、次年度春の企画展PR用ポスター・チラシ等の印刷、発送等の準備を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備	
成果		展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要である。開催年度前から準備作業を行うことで、展覧会の充実が図ることができた。新型コロナウイルスの影響により、打ち合わせのための出張がなかなか出来なかったが、リモート会議を活用して準備を進めることができた。							
課題		新型コロナウイルスの影響により、アンケートを取ることができなかった。新型コロナウイルスの影響が残ることを考慮しつつ、開催方法を検討する。							
O実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度
	成果指標	春季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）			96	80.9	—	95	95
	成果指標	秋季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）			95	83.8	—	95	95
他市との比較検証	次年度以降の展覧会準備にかかる予算事業名及び内容…高浜市やきもの里かわら美術館：（次期企画展開催準備事業）旅費・運搬料等、碧南市藤井達吉現代美術館：（企画展開催事業）旅費・図書購入費等、豊田市美術館：（企画展調査費）旅費、稲沢市荻須記念美術館：（令和3年度特別展）旅費								
C事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,390	2,544	2,726	3,532	合計	2,726,171 円	
	財源	特定財源	0	222	0	0	旅費	717,160 円	
		一般財源	2,390	2,322	2,726	3,532	需用費	1,346,985 円	
	職員人件費 ②		5,015	5,776	5,600	5,273	役務費	305,626 円	
	総事業費（①+②）		7,405	8,320	8,326	8,805	委託料	356,400 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			美術品等購入基金積立事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	6	8					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	刈谷市美術館等購入基金の運用収入金を基金へ積立てることで、基金の適切な運用を図る。			主たる内容	美術品等購入基金の利子の積立てを行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例					
		対象者	対象者を設定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・運用収入金を基金に積立 401,880円		・運用収入金を基金に積立 586,071円		・運用収入金を基金に積立 463,726円		・運用収入金を基金に積立 526,000円	
成果		美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。							
課題		経済状況の悪化に伴う預金利率の低下により収益効果が悪化した。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
成果指標	運用収入金（千円）		30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
指標			402	586	464	526	—		
他市との比較検証	購入基金の有無…高浜市やきもの里かわら美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：無、豊田市美術館：無、稲沢市荻須記念美術館：有 基金額（内現金）・運用収入額（円）…稲沢市荻須記念美術館：11,279,440（同額）・21,892								
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		402	586	464	526	合計	463,726 円	
	財源	特定財源	402	586	464	526	積立金	463,726 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		772	770	747	753			
	総事業費（①+②）		1,174	1,356	1,211	1,279			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		美術品等購入基金積立金利子					
4年度以降の事業費見込		0							